



小学3年生までの医療費 無料化を予算案に計上

公明党横浜市会ニュース
横浜市議員(港南区)

安西 ひでとし

「公明党市議団の主張で、 小児医療費助成が大幅拡充！」

小児医療費助成！

10月から小学3年生まで

市会第1回定例会で審議する2015年度の予算案に、小児医療費を小学3年生まで無料とするための経費が計上されました。

公明党は1992年から小児医療費の無料化を主張し、その結果、現在は小学1年生まで無料となっています。

私たちは毎年、一貫して制度の拡充を求めてきましたが、この予算案が議決されれば、今年10月から小学3年生まで医療費が無料となります。

今後は所得制限の撤廃と、小学6年生までの対象拡大を目指します。

中学校にスクールランチ 制度が実現！

16年度中に市立中学校全校で横浜型配達弁当(仮称)と家庭弁当のどちらも選択できる環境を整えることが決まりました。

育ち盛りの中学生なのに家庭から弁当を持参できないケースがあることを課題と考え、栄養バランスのとれた複数のメニューから昼食を選ぶことができる「横浜型スクールランチ」の導入に向けて98年から取り組んできました。

今回決まった横浜型配達弁当は私たちが提案してきたものと同じで、民間調理施設で調理し、弁当箱に詰め、保温コンテナに入れて中学校へ配達する方式です。

弁当の本身は、ごはん、おかず、汁物、牛乳で、ごはんと汁物は温かい状態で届きます。

個人の状況で組み合わせる注文が可能で、使い勝手もよいものです。

私たちは昼食の提供について給食方式も含め、様々な実施方法を比較してきました。下記表。



その結果、整備費も含めて1番効率的で、かつ、なるべく早期にスタート可能だったのが配達弁当方式です。

方式です。
横浜市ではこの方式がベストです。

中学生昼食実施方法の比較

実施方法	実現可能性	栄養バランス	温かさ	複数メニューへの対応	施設整備費(推計額)
①配達弁当	全校で実施可能	○	○	○	約30億円
②近隣小学校で調理し、配達	小中学校の組み合わせの中では、すべての中学校での実施が困難	○	○	×	約60億円
③校内に調理施設を設置	半数以上の中学校で、施設の制約から実施が困難	○	◎	×	約260億円
④複数校分を調理し、配達	建設用地の確保が困難	○	○	×	約330億円(市内18カ所)

